

平成28年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	農を基盤とした理工系グローバル人材養成のための英語スキルアップ	
実施組織 (または対象のカリキュラム)	農学部	
※連携する他学部・機関がある場合は記入	「MILESTONE 英会話」学校(長野県伊那市), 国際農学教育研究センター	
実施責任者(所属)	千 菊夫 ( 農学部 )	
取組の目標	グローバル社会に適応し活躍できる農を基盤とした理工系グローバル人材養成をすることを目的とする。	
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	<p>1. 「MILESTONE 英会話」学校よりネイティブ講師を招き学生向け英語スキルアップ講座を「初級講座 (60分×10回)」、「上級講座 (90分×10回)」の2講座開講した。(申込者: 初級9名, 上級14名)</p> <p>2. 「MILESTONE 英会話」学校よりネイティブ講師を招き教員向け英語スキルアップ講座 (60分×10回) を開講した。(申込者: 12名) また, 次年度以降の英語で開講する授業に向けて, 模擬講義を行い個別レッスンを実施した。(申込者: 5名)</p> <p>3. 上記1の講座受講生に6月及び12月開催のTOEIC-IPテストを受験させ, 能力測定を行った。</p>	
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望  (達成の度合いを選び, そう評価する理由と今後の展望を記述)	a. 達成できた ⑤. おおよそ達成できた c. 半ば達成できた	<p>(そう評価する理由)</p> <p>学生向け英語スキルアップ講座については, 「英語が好きになった」や「楽しく英語を学ぶことができた」と高評価な意見が多かった。また, 6月と12月に実施したTOEIC-IPテストでは, 6月のスコアに比べて12月のスコアが130点も上昇した学生もおり, スキルアップ講座をきっかけに主体的に英語の学修が促されたものと思われる。</p> <p>教員向け英語スキルアップ講座については, 「ネイティブの英語に接するいい機会だった」と高評価な意見もあったが, 「体系的・実用的(近い将来, 院生講義を英語とする教員が受講するという意味で)であって欲しかった」との意見もあり, 来年度の実施方法を見直す必要がある。</p>
	d. おおよそ達成できなかった e. 達成できなかった	<p>(今後の展望)</p> <p>学生向け英語スキルアップ講座については, ネイティブ講師による講座に加え, 協定校から派遣される学生を対象とした農学部での実習と一緒に参加することを促し, 共同調査やディスカッション等の活動に必要な実用的・専門的英会話を経験しつつ海外留学前に学習すべきことを考えることができるようにし, 留学に向けた主体的学修を促す。</p> <p>教員向け英語スキルアップ講座については, 講座内容の見直し, 学生からの満足度が高い講義だけでなく, 研究室に所属する学生が国際学会に参加する際の指導力向上を目的とした英語による模擬講義や講義資料の作成, プレゼンテーションを行いネイティブ講師によるアドバイスを受ける個別レッスンを予定している。</p>